

製品名: RIPK3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86115**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	56.9kDa

抗原情報

遺伝子名	RIPK3
別名	Receptor-interacting serine/threonine-protein kinase 3, 2.7.11.1, RIP-like protein kinase 3, Receptor-interacting protein 3, RIP-3, RIPK3, RIP3
遺伝子 ID	11035.0
SwissProt ID	Q9Y572
免疫原	この RIPK3 抗体は、ヒト RIPK3 のヒト領域からの組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

ネクロプトーシス（細胞死を誘導する TNF- α ファミリーメンバーに応答するプログラム細胞死プロセス）に必須です。ネクローシス誘導において、RIPK3 は RIPK1 および MLKL と相互作用し、リン酸化してネクローシス誘導複合体を形成します。RIPK3 は3つの代謝酵素（GLUL、GLUD1、PYGL）に結合し、その活性を増強します。これらの代謝酵素は最終的にトリカルボン酸回路と酸化的リン酸化を刺激し、結果として ROS 産生を増強する可能性があります。

研究分野

アポトーシス

画像データ

全レーン：抗 RIPK3 抗体 (1:1000 希釈)

